

つばめ会会報

“Slope”

#39

目次

3	会長の言葉	浅野 (12期)
4	幹事長の言葉	大嶋 (31期)
5	部長の言葉	神野 (38期)
6	ヘッドコーチの言葉	西村 (36期)
7	留年大会参加記	坪居 (24期)
18	島田新聞	島田 (28期)
19	アメリカ滞在記	長坂 (33期)
22	転職のすゝめ	SATO (34期)
25	JWOC2017 遠征記	上野 (38期)
43	お知らせ・編集後記	

会長のことば

浅野 昭 (12期)

slope 第 39 号をお届けします。

今号の話題といえば、インカレミドルと、上野さんの JWOC 代表選出&出場でしょうか。世界大会への出場は、OLT としては、すでに珍しいものではなくなりましたが、JWOC となると、2000年の蔵田さん以来、17年ぶりになるそうです。詳しくは、他のみなさんからのレポートに譲りますが、参加されたみなさん、本当におつかれさまでした。この経験は、きっと次の大会へ活きると思います。

そして、この原稿を書いている現在、伝わっている情報 (orienteering.com) によると、今冬(2018年1月)に栃木県で東工大大会が開催されるそうです。4年前は千葉大との共催でしたので、単独開催となると、本当にしばらくぶり(たぶん1995年以来)の開催になります。

さきほどから〇年ぶりとはばかり書いていますが、それも OLT がこれまで脈々と続いてきたからこそです。つばめ会は、これからも「〇年ぶり」と言い続けられるように、OLT をサポートしていきたいと考えております。

みなさまのご協力に感謝いたします。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

幹事長の言葉

大嶋 拓実 (31期)

皆さま、お世話になっております。

幹事長を務めさせていただきます、31期の大嶋です。

すでにご存じの方もいるかと思いますが、

今春のインカレミドルも運営として携わらせていただきます。

併設大会の開催も予定しておりますので、

つばめ会の皆様のご参加もお待ちしております。

また観戦者、運営者にとって現役学生の活躍は大きな楽しみかと思っておりますので、

皆様の継続的なご支援を宜しくお願い致します。

部長の言葉

神野 直紀 (38期)

只今東工大 OLT で部長を務めております 38 期の神野と申します。つばめ会の皆様には、日頃より多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。

初めに、OLT の近況 (2017 年 8 月現在) についてご報告いたします。本年度は新歓活動で新入生 18 人が入部し、部員数は 40 人を超える人数となりました。昼休みや水曜練終了後などは部室が非常に狭く感じるほどになってしまい、部室の資材などの整理を本格的に行わなければならないという嬉しい悩みを抱えております。部員数が増えただけでなく、大会でも上位入賞を果たす部員が前年と比較し増加傾向にあります。特に 7 月 2 日 (日) に行われた関東学連ロングセレにおいては、3 人の部員がインカレロング選手権クラスへの出場を決めました。私が入部して以来最多のセレクション通過人数となったため、個人的にも大変嬉しいことだと感じております。さらに、38 期の上野が北欧フィンランドで行われた JWOC2017 の日本代表として遠征を行うなど、OLT 部員の活躍の場が大きく広がっております。

次に将来の活動の展開について説明させていただきます。来る 2018 年 1 月 14 日 (日)、OLT は矢板地区の新規トレイン「倉掛遊水池」にて、東工大大会を開催いたします。例年 OLT は東工大のキャンパスで東工大スプリントを開催しておりましたが、フォレスト競技の大会開催は 2013 年 11 月の千葉大・東工大オリエンテーリング大会以来となります。YMOE 社山川氏と日本学生オリエンテーリング連盟の主導で進められている、新機軸事業による新規トレインを使用させていただき開催する大会となっております。単独でのフォレスト競技の大会開催は今までに例を見ないものであり、その難しさを感じているところではございますが、大会を成功させるべく全力で努力していく所存でございます。また将来的には、すずかけ台キャンパスでの大会開催も行うことができると考えております。現在は地図調査に着手した段階ではございますが、今回の東工大大会の開催による経験を活かすことで、実現することができるものと確信しております。今後の OLT の活動にどうぞご期待ください。

最後となりますが、現在の OLT の発展が OB の方の力なくしては実現されなかったことは間違いありません。つばめ会の皆様には改めてお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援のほど宜しく願いいたします。

ヘッドコーチの言葉

西村 駿 (36 期)

はじめまして。今年度 OLT のヘッドコーチを務めることになりました 36 期の西村です。よろしくお願いいたします。

現役のころはどのレースでもがむしゃらに走っていて、競技としてオリエンテーリングをやっていましたが、引退してからオリエンテーリングが速くなりたいというモチベーションが下っていき、OB としての第一歩を踏み出した気がしています。最近は頑張らないことを目標として走るようになって、余裕が出てきたためか、今まで気づかなかった楽しさに気づき、オリエンテーリングの奥深さを感じています。こんな感じでゆるふわで楽しみつつ、現役と競えるくらいには体力を維持しながらやっっていこうと考えています。

今年度の現役ついて報告を少し行おうと思います。今年度は多くの 1 年生が入りました。上級生と競える体力を持っている 1 年生も多く、東大大会では 4 人が入賞、その他の大会でも毎回誰かは入賞するという期待できる世代です。またロングセレでは中谷(4)、上野(3)、小原(3)の 3 人が通過しました。久しぶりに複数人が選手権に出場ということでうれしい結果となりました。両レーンとも通過ラインぎりぎりだったので本戦までにしっかり練習して本番では良いレースが出来るよう頑張っしてほしいです。

今年度ヘッドコーチとしてやろうと思っていることは「現役にたくさんオリエンをしてもらう」です。まずはたくさん走って、多くのレースを重ねることで気づけることがあると思います。そのために、練習会の開催をしていきたいと思っています。大会に参加するのと比べ、練習会なら走れる量も多く取れるし、参加費も抑えることが出来るので、現役も参加しやすいのではないかと思います。問題点としては自分たちでコースを組む、また運営をする必要があるため、何度も練習会を開くとコーチの負担が大きくなってしまいます。機会があればメーリスの方で宣伝させていただくので、プランナーや練習会に来てくださる方がいればご連絡をお待ちしております。

留年大会参加記

坪居大介 24期

(かつて留年しそうだった)

ヤツらが「大会」運営に乗り出した！ - 第5回留年大会

from OK-info(転載許可はとっていない)

ここ最近、留年練習会なる練習会が年1回開催されている。開催時期は概ねテスト期間である。

最大の特徴は運営者=留年生、ということである。そして、そのコースは毎回ぶっ飛んだコースである。だがしかし、今年2月にあった留年練習会は、申し訳ないが期待外れと言うしかない練習会であった。留年生らしいぶっ飛び方がなかったのである。

それは運営者もよく理解していたらしい。彼らはここに来て一念発起し、大会の開催を決定した。

そして、実行委員長と開催地域をルーレットで決定するという暴挙に出たのである…。

というわけで、留年大会@山形に参加してきました。

今回は36期のみんな(西村・芳賀・三上・砂原・山下部)が車を出してくれたので俺とやまたけ(32期)は新幹線で参加。観光その他と合わせて、素晴らしい3日間を堪能することができました。

留年大会の全参加者は200人程度。何だかんだでビックイベントでした。

ちなみに、つばめ会関係で他に参加していたのは永瀬さん(10期)・仁多見さん(20期)・井上(31期)・福地(33期)でした。

Day-1 スプリント・ダウンヒルミドル・ナイト・焼肉飲み会

始電で高崎→大宮→山形と新幹線を乗り継ぎ、山形駅着。3年前のさくらんぼ大会以来だ。…暑い。マジで暑い。死ぬほど暑い。本当に今日～明日で4レースもするのか…？

早速36期の車に乗せてもらう。芳賀が運転。そういえば芳賀が運転するのを初めて見た。そして、早速みんな芳賀の運転に対してケチを付けまくる。流石である。

…思えば、伝説の山下部旅行記は3年前のさくらんぼ大会のときであった。

免許取り立て？の山下部の運転内容があまりに酷く、同乗者が恐怖を感じていたというお話である。あれから3年、山下部の運転もすっかり上手になったものだ。

そして会場に着く。まあいつも通りなのだが、一つだけ大きく違うことがある。
みんなシャツが黄色いのである。そう、「広げよう、留年の輪」のTシャツである。
もちろん運営者は全員着ていたし、会場でTシャツの販売をしていたし、参加者もかなりの人数が留年Tシャツを着ている。お陰で運営者と参加者の見分けがつかなかった…。



運営者一同。みんなこの黄色いTシャツを着ていました。運営者も参加者も。(from 公式 twitter)

さて自分のレースは…まずスプリント。ヤブの中のポストが見つからず探し回っているうちにやまたけに追いつかれました。あとは概ね後ろについていきました。しょっぱい。
続いてダウンヒルミドル。話題を呼んだコースプロフィール(3.5km : ↑0m?)だったので結構楽しみにしていたが…A 表記の場所のヤブが酷い。地図がいまいち信用できない。距離感が全く合わない。酷い目に会いました。3.5km で 57 分は流石にかかりすぎ。もっとも、アップ 0 なのにキロ 10 分を切ったのは 10 人/150 人だったんですが。

というわけでレースを一旦終えて宿（山形駅前のビジネスホテル）に行って荷物を置いて夕食へ。ナイトOがあるので龍上海というラーメン屋でラーメン。赤湯辛味噌ラーメンが名物らしいので、それをチョイス。…辛い。マジで辛い。普通の味噌ラーメンよりもスープが凝ってて美味しいんですが、如何せん辛い。

腹ごしらえ後はナイトO。トップスタート 20 時の 30 分前に到着。…運営者の様子がおかしい。どうも酒を飲んだらしい。というか twitter 上で運営者が焼肉を食べている画像が流れていた。会場で会った SOTO(34 期)に至っては「俺 7 杯飲んだから！」とか言っている始末。完全に酔っ払いである。

運営者が慌ただしく準備をしているが明らかに間に合いそうにない。何しろスタート5分前にスタートポストがついていない事態が発覚したし、そもそもまだ地図が配布されていない。というわけで当然のようにスタートが5分遅れた。もっとも、「5分遅らせませーす！」と言った瞬間に参加者は全員爆笑していたが。そりゃそうだ。自分がスタートする1分前まで本当にスタートするのかどうか疑心暗鬼だった。

さて、自分のレース。グループ分けして一斉スタートで、福地もたまたま同じグループに入ったが、ライトがヘッドライトでなくまさかの手持ちライト。これは負けられないと思ったら、行く先々で手持ちライトの男（ナイト0なので顔が見えない）が。向こうは俺に気づいていなかったらしい。結局同時ゴールと相成りました。まあ1ポに行こうとして6ポに行くあたりダメダメである。

さて、これで今日のオリエンテーリングはすべて終了。明日の地獄のレースに備えて寝る…わけもなく、宿に戻ったら当然飲み会である。22時30分開始。そのへんの焼肉屋で36期5人と俺・やまたけで飲み会である。

結構お高いところだったようで、とにかく肉がうまい。みんなで肉うめーうめーと言いながらお酒も飲んで素晴らしい飲み会だった。お金も素晴らしく飛んだけれども。そして、その飲み会の最中に一つの議題が。ウイスキー工場に行くのは決まっていたが、最終日の運転をどうしようか。試飲があるからそりゃあ誰だってドライバーにはなりたくない。そして出した結論は…

ちなみに、俺は1次会で帰ったんですが数人は2次会まで行っていました。午前2時くらいまで飲んでいたらしい。次の日の朝食で西村は死んだような目をしていました。やまたけに至っては朝食の時間に起きられませんでした。残念ながら当然である。

Day-2 ウルトラロング・LINE 遠隔飲み

今日がある意味本番のウルトラロングである。もちろん気合は入って…あんまりいない。昨日のオリエンのことを考えるとテンションが上がらない。ヤブはすごそうだし地図はちょっと怪しいかもしれない。レース中に雨も降る確率が高そう。あと会場がスタートだから頑張ろうという感じがどうも起きない。というわけで今回は帽子を装備して、どうせ会場がスペクテーターズ区間になるであろうことが予想できたので、会場付近に飲み物を置いておく。自分の走る最長コースはなんと14.5km/↑750mである。トップタイム予想は150分(実際には165分程度でした)。意味がわからない。スタートの直前に配布されるデフ表だと…え！？ポスト23個しかないの！？しかも1マップなの！？

さて、スタート。…嫌な予感のはしていたが案の定だった。S→1は1.6km/up300m、1→2は2.2km/up30m?である…。しかも、初回の給水はまさかの1ポであった…。というわけで1ポまでは適当に道をショートカットしながらひたすら歩いて登る。1ポに着いたところでF君（早稲田）に「今日はハイキングですか？」と煽られたので「ここまではスタート誘導でここからスタートだから（震え声）」と返す。

その後は2,3,4…と淡々と歩いて（たまに走って）レースをする。途中で三上に会ったので、これは使えると思い「三上、スタート何分だっけ？」と聞いたら「6分(俺の12分前)です」と返された。「…使えねー（※マジで言いました）」三上すまん。ちなみにこの辺のショートレグは地図表記とヤブが原因で相当な人が討ち取られていた。

その後9ポ時点で2.5時間経過し、いよいよ競技時間に間に合わないのが確定になりつつあったので、せめて10ポ（いかにも難しいロングレグ）だけは取って帰ろうと思い、10ポ付近でちょっとツボりつつ何とかポストを取る。ここは給水だが…水がない。またか。思わず「留年生〇ねー！」と叫びつつ棄権を決意。14ポ・21ポ・22ポをとってラスポへ。（※以前の留年練習会でもウルトラロングの給水の水がなくなっていた）

そしてラスポゴールだが…「坪居さんはこっちです」とやまたけの声がある。どれがいいですかと言われたので「ぶどうで」と返す。そう、我々だけは250ml/5%の特製のラスポゴールがあったのである。プログラムには、「会場およびテレイン内での飲酒は禁止されていません」という表記があったので、これはやるしかない！と前日の飲み会で決定したのであった。みんなラスポゴールをこなした直後はかなり酒臭かったそうである。そりゃあ一瞬で吸収されるに決まってるだろ！

こうしてレースは終了。全然表彰者が合っていない表彰式を行った後はダーツである。そう、またしても留年生は次回大会の地域と実行委員長をダーツで決定したのである。ちなみに地域は東海地方、実行委員長はKOLCの1年生(2回生)でした。彼一番年下なのでは…？その後はさくらんぼの大盤振る舞いがあり、これで大会としては終了した。



ウルトラロングの真のラスポゴールをこなす三上と砂原
砂原はなんと4時間かけて完走！

大会としては終了したが、この山形旅行はまだ終わりではない。むしろここからと言っても過言ではない。というわけで今日の宿の作並温泉に向かう途中でお酒の買い出し。温泉宿らしい美味しい夕食の後はいよいよ飲み会である。レースも全て終わったしさぞかし楽しい飲み会になるだろう。

21時頃から飲み会開始！で、最初はまったり飲んでいたら、我々に火をつけたのはまさかの中谷(現役4年、別行動)であった。あまりにあまりなのでここでの引用は控えるが、意味不明な発言から OLT の雑多 LINE の発言が俄然盛り上がる。そして、何故か戸上(35期)が煽ってきたので返り討ちにする。煽り部門において酔っぱらいがシラフの奴に負けるわけではないのである。その返り討ちの成果とは…戸上の飲み会への参加であった。意味がわからない。そもそも戸上は留年大会に参加していないうえに福岡在住である。こうしてまさかの LINE 遠隔飲みが始まった。

00:52 戸上 何かゲームしたいです

00:54 戸上 ツヴォイヴォイヴォイゲーム！

00:54 戸上 ルールは簡単

00:55 戸上 炙りカルビ的にヴォイを追加していくゲーム

00:55 西村 つぼぼぼぼーい

00:56 坪居 つぼぼぼぼほい

00:56 西村 つぼぼぼぼぼぼ

00:56 戸上 ツヴォイヴォイヴォイヴォイヴォイヴォイ

00:57 山本 ツヴォイヴォイヴォイヴォイヴォイヴォイ

00:57 三上 ツヴォイヴォイヴォイヴォイヴォイヴォイ

00:57 山本 だめー (※三上がアウトだったらしい。西村もアウトの気がするが)

意味がわからない。まさに飲み会である。ちなみに、遠隔飲みなので酒を飲んだら自撮りで画像を LINE に上げるルールである。そして今度は twitter で意外な人が釣れる。

長坂 優雅に朝食をキメてた

芳賀 今飲み会やってますよ

長坂 え、ええ

芳賀 はよはよ

そう、まさかの長坂(33期)である。しかも彼はこの時アメリカ在住。我々は深夜だが彼は朝なのである。それでも彼は来てくれた。素晴らしい。

01:04 山本 そんなつばいからはじまるー
01:04 芳賀 イエー―――イ
01:04 坪居 よつかいどうげーむー
01:04 戸上 いえい
01:04 山本 いちかいど
01:04 芳賀 にーかいどお
01:04 三上 三街道
01:04 戸上 四街道
01:05 山本 はやい
01:05 芳賀 よーつかいどーよーつかいどー
01:05 坪居 はやすぎわろた
01:05 西村 とーがーみっ！
01:05 長坂 画像 （←日本酒の画像）
01:05 西村 とーがーみみっ！
01:05 芳賀 なーがさかなーがさか
01:05 長坂 酒準備

そして始まる四街道ゲーム。意味がわからない。まさに飲み会である。
さらに部室にいる奴も釣れる。意味がわからない。

01:19 根岸 せんえつながらー
01:19 西村 いったきまーす！
01:19 根岸 じこしょうかいさせてー
01:19 砂原 いっただっきまーす！
01:19 芳賀 いっただっきまーす！
01:20 西村 まーす！
01:20 砂原 よーよーよーよー
01:20 坪居 よーお！
01:20 戸上 いっただっきまーす！
01:20 山本 よーおつ
01:20 長坂 よーよーよー
01:20 戸上 よーお
01:20 西村 よよよー
01:20 三上 よー！よー！よー！

(このあといつもの自己紹介の流れ…をひたすら LINE でやりとりする)

まさかの根岸(34期)@部室の乱入である。こうして山形・福岡・アメリカ・大岡山の遠隔飲みが始まったのであった。そしてどんどん意味がわからなくなっていく。

01:29 根岸 ほうれんそうゲーム！
01:29 根岸 ほうれんそうほうれんそうほうれんそう
01:29 西村 ほうれんそうほうれんそう
01:29 芳賀 ほうれんそうほうれんそう
01:29 根岸 ほうれんそうほうれんそう
01:29 戸上 ほうれんそうほうれんそう
01:30 西村 ほうれんそうほうれんそう
01:30 芳賀 ほうれん草ほうれん草ほうれん草
01:30 山本 もうこれわかんねえな

意味がわからない。しかもこれで飲んだのはやまたけである。
このあと戸上はコンビニに2回目のお酒の買い出しに行った。流石である。

01:35 根岸 画像 ← ビールを飲んでいる写真だがノンアルコール
01:36 西村 ノンアルは甘え
01:36 芳賀 それノンアルじゃねーか
01:36 砂原 え、ノンアル??
01:36 山本 純で割れ
01:36 三上 ノンアルは許せねえ)
01:36 長坂 こっちは日本酒飲んでるんだぞおらあ
01:36 坪居 ノンアル…だと! ?
01:36 西村 そんなネギさんが悲しい
01:36 芳賀 部室にウイスキーあるはず
01:36 西村 幻滅です
01:36 戸上 きほん
01:36 根岸 飲んでから気づいたンゴねえ
01:36 戸上 日本酒は最低
01:36 坪居 味で気づけよ!
01:37 芳賀 泣いてる

01:37 戸上 10percentが最低ライン
01:37 山本 とりあえず根岸飲みなよ
01:37 戸上 泣いてる
01:38 根岸 画像 ← ノンアルビールにウイスキーを注ぐ
01:38 長坂 うおおおお！ねっぎっし！

飲める人がノンアルコールはそりゃあ叩かれるよね。

そして俺はそろそろ限界を迎えつつあった。

(飲み会終盤らしく罵言雑言の嵐なので伏字にしておきます)

02:19 坪居 乾杯したから！
02:19 戸○ 乾かしました？
02:19 坪居 …。
02:20 戸○ つばいさん、今までの芸歴で乾かしてください
02:20 芳○ つばいさんビール一口しか飲んでない
02:20 戸○ 飲みたくないなら寝てください
02:20 長○ 僕の尊敬する坪井さんはどこに
02:21 戸○ もう僕たちで飲むんでつばいさん、永眠いいですよ
02:21 坪居 すまん
02:23 戸○ つばいさん雑魚かな？
02:24 長○ まだ 10 時！
02:24 坪居 とがみしね(つらい)
02:24 戸○ なら殺して見ろー
02:25 戸○ 次回からクローンっすよ？
02:25 西○ ばいさん、つらいしか言わない人になってしまった
02:26 長○ つらいさん
02:26 根○ 起きねえばいはただのばい
02:27 戸○ 同室なんだし責任とれよ
02:36 坪居 撤退しますた
02:36 坪居 つらい
02:36 山○ つぶやく余裕あるうちは甘え
02:36 山○ だから完走できないんやで

無理でした。すみません。部室じゃないんだから限界まで飲めません。

こうしてあまりに楽しい夜は更けていくのであった。ちなみに3時半まで飲み会していたらしい。

LINEの総発言数は3時間で1300/10人程度、トップの戸上は実に350発言。

次の日戸上は11時に「二日酔い辛い」と言っているのであった…。

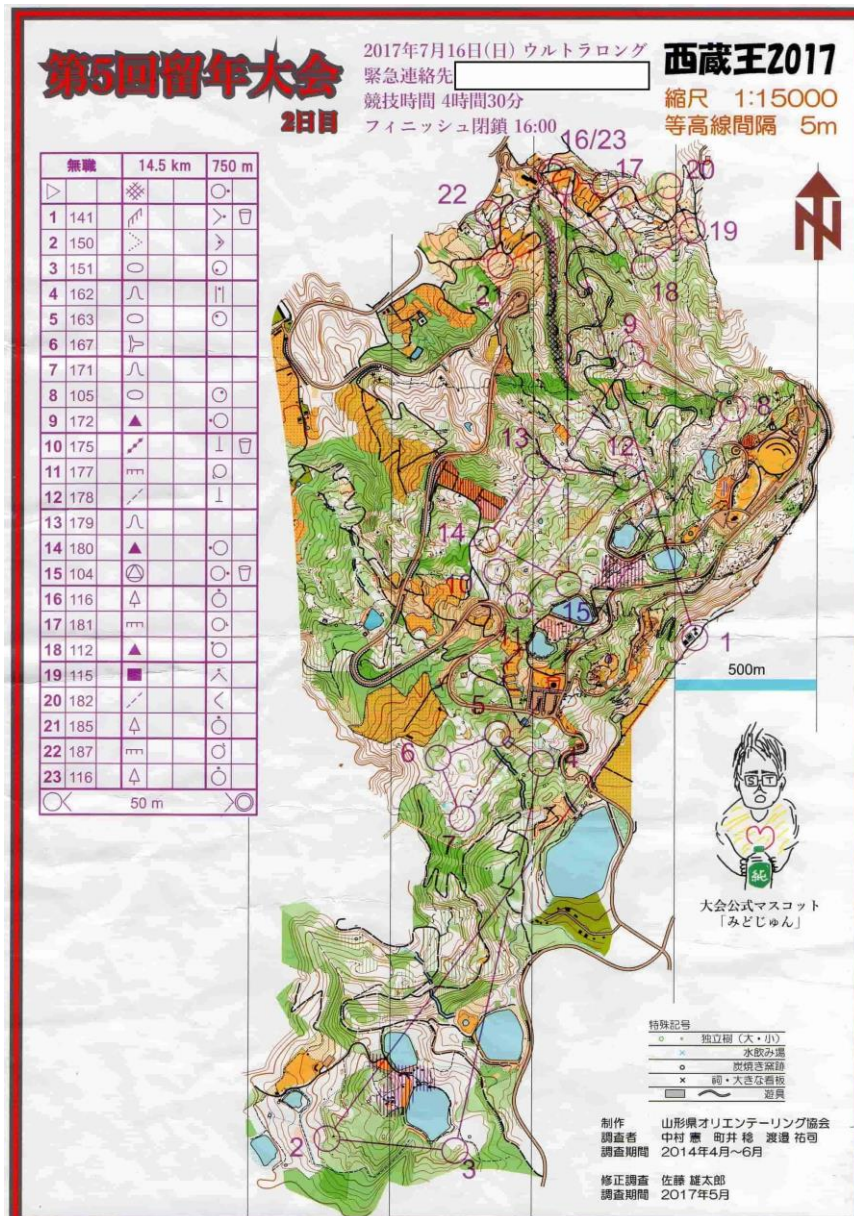
Day-3 ニッカウイスキー宮城峡蒸溜所・松島観光

あとはいわゆる普通の観光である。でもオリエンテーリングの遠征だとあまり観光ってしたことがないから、結構新鮮な感じである。

まずは宿のすぐ近く(車で5分)のところにあるニッカウイスキー蒸溜所の見学へ。そう、前日の飲み会の前に、ウルトラロングの成績でこの日のドライバーを決定したのであった。特定の3つのレッグの順位から決定したのであった。レッグの決定権は俺にあったので、レッグのうち1つは当然ラスポゴールにしておいた。その結果、そもそも初日にメガネを無くしウルトラロングは1ポすら行けなかった山下部と成績がイマイチだった三上が当選したのであった。というわけで、蒸溜所3回目にして初の試飲である。堪能させていただきました。アップルワインうまかった(あれ?)

その後は仙台の繁華街で美味しい牛タンを食べた後に松島へ。遊覧船に乗って多島海をゆっくり眺めるといってバタバタな観光。もっとも、ネコのキ〇ガイみたいなぬいぐるみのインパクトが凄かったが。某アンジョンファンみたいな感じ。

そして仙台駅まで送ってもらって、俺とやまたけは新幹線で、他の36期のみんなは車で関東に帰ったのだ。…で、なぜか車はレンタカーなのに帰りがけに助手席のドアが壊れる(ネジの破断)というトラブルが発生するのであった。さすが山下部車である…。



ウルトラロング最長クラス（無職）の地図。殺す気か。

あとそのマスコットは…。

山形遠征の感想

- ・ LINE 遠隔飲みが最高だった。
- ・ 食事系一覧：赤湯辛味噌ラーメン・山形牛・温泉宿での朝夕食・牛タン・牡蠣
 …いやあよく食べた。
- ・ レースはことごとく辛かった。とにかくヤブい。
 次回はもうちょっとヤブが少ないトレインで開催してください…。
- ・ お金もガッツリ飛んだけど、またこういう遠征を試みたいもんです。

最後に、話題を呼んだ実行委員長挨拶を一部転載して締めとしたいと思う。

運営していただいた皆様、本当にありがとうございました。

そして一緒に参加してくれた皆さんありがとう。本当に楽しかったです。

結論としましては、「留年はいいものだ」ということです。人生尾根あり沢あり。レッグ線上を走るだけがオリエンテーリングではありません。たまには切り株に腰かけてミス率を上げてはいかがでしょうか？本大会ではそのような魅力的なコースをたくさん用意できたと自負しております。参加者の方々には、是非留年とはなんたるかを少しでも知っていただきたいです。

-第5回留年大会 実行委員長 吉川 輝(2011年度浪人、東京工業大学2014年度留年(35期))-

島田新聞

2017 特別号

28期 島田

なんだか懐かしいような。確かこんなロゴだったかなと思いつつ、お久しぶりであります。とてもお久しぶりです。最近暑いですね。近況でも書いてみたいと思います。しかしするうぶなるものに新聞を出すのは初めてのような……！

さてさて。ここ数年(もつと?)ぐったりとしていたわけですが、一番の出来事といえば。今年の3月にですね。なんと！

大学院を卒業しました！ やったね！ ギリギリすぎて、危うく在籍年限が来てしまうところでありました。今ではクォーター制になり、1年が4分割されているわけですが、単位が足りなすぎて第4クォーターに9科目

も入れる暴挙！ 在籍年限の都合で第3クォーターの科目が取れなかったのです。もちろんこれの他に修論があるわけでした。うげえ。さらに講義では、第3クォーターまでの話をガンガン使ってくるわけでした。あばばばば、しぬう！ 1月2月は半分以上朝まで起きていたと思います。そういえば、正月は高熱を出して本当にしぬう！ 状態でしたな……：論文の進捗的にも。

そもそもこんなにギリギリになるなよって？ 私もう思います。まあ、反省するなら、悪意もなく他人につけこんでくる人間をうまくあしらえるようになるべきだった、かなあ。一方で、これに責任を押し付けるのもなん

だかなあ、と。元気がねー、取られちゃったのねー。詳しくは省略です。重たい！

最近では、とあるゲームに復帰しました。いろいろシステムが追加されていて、なかなかおもしろそうです。ところで、皆さんはPSONには行きましたか？ これはなかなかのものじゃな。このゲームは一見運ゲーのようであって、しかしプレイヤーのスキルの影響はかなり大きいゲームだと思えます。ああ、備蓄しないと……。

しかしなんとかコムさんの接続障害はなんとかならんものですか。ちよっとひどすぎんよー。時間帯によってはISDNよりひどい気がするんだけど。反応返ってくるまでうんじゅうびょうと

かなんなの？ やほおとつぶ表示するだけで何分かってるの？ 深夜なら接続切ってもいいと思ってるの？ 夏イべちよつと不安なんだけど！ あかんこれ！ 猫はやめてねこ。

夏は暑すぎて、この所毎年のように塩が不足してしまいます。1日に2リットルくらい水を飲んだのに、トレにも行かず全部汗になるとかマジやばくね？ 昼は少し意識が朦朧とし、夜も寝づらく、なんだか体もだるい。別に意識して塩を取らないようにしているわけでもないんだけどなあ。減塩とかクソだな！

こんなところかな？ それでは、またどこかでお会いしましょう。じゃあ。

アメリカ滞在記

長坂 (33 期)

お久しぶりです。

先日は M1 説明会があったみたいですが、参加できずに申し訳ありませんでした。なぜ参加できなかったかと言いますとアメリカにいたからです。私は流されるままに修士からそのまま博士過程に進学したのですが、弊研究室では、博士課程の学生を修行という名目で海外の研究所に送り込む慣習があります。私もその伝統に漏れることなく送りこまれることになり、カリフォルニアのバークレーというところに 5 月から 3 ヶ月間滞在していました。そこでの研究所のこととか、生活のこととか、あと 7 月の終盤にサンフランシスコで行われたハーフマラソンとかの話をしようかなと思います。

○研究所について

バークレーにある研究所にインターンということで雇われていました。一応、一日 8 時間の時給制で雇われていたのですが、勤怠管理はガバガバでしたので非常に気が楽でした。そもそも研究所の人も（彼らは月とか年で給料が決まっているとはいえ）来る時間とかは適当だし、金曜になると人が激減するって状態なの本当に適当ですね。ちなみに 7 月頭の独立記念日は火曜だったのですが、月曜にラボに行ったら。ほとんど誰もいませんでした。なんならその前の週の金曜もいなかったので、みなさん 5 連休にしていたようです。いいですねあ。

○生活について

最近、サンフランシスコの地価が NY のマンハッタンを抜いて全米トップになったらしいです。そのサンフランシスコ程ではないにせよ、バークレーも地価は高く、そして物価も高いです。滞り場所を色々探しましたが、台所風呂共有めっちゃ汚くても家賃が 1000 ドルぐらいするというきつさです。食事外で適当に食っても 10 ドルぐらいします。結局行きませんでした。バークレーにある一風堂はラーメン一杯 15 ドルします。日本の倍です。逆に、タコスやブリットーなどのメキシカン料理はそこそこ安い値段でまあまあ美味しくてお腹いっぱいになるので、コスパは非常に良かったです。

観光については、サンフランシスコにあるゴールデンゲートブリッジという有名な橋などいろいろな場所に行きましたが、やはりおすすめポイントはバークレーの湾岸にある「Takara Sake USA」ですね。宝酒造のアメリカ支部です。ここでお酒も作っているようで、試飲所もあるというすばらしさです。15 ドルぐらいでいろいろな松竹梅が試せて、だいたい一合ぶんぐらい飲めます。有能です。ちなみにアメリカでも純が売られています。色々探し回った結果、サンフランシスコのジャパントウンにある日系スーパーで売っているのを発見しました。日本から輸入したものなので中身は多分日本のものと一緒なのかなと。ちなみにアメリカでの取扱は赤純だけのようです。



○ハーフマラソンについて

滞在の序盤に、ラボの人に「なんか運動とかやるの?」と聞かれ「走ったりするよ!」と答えたら、「7月末にマラソン大会あるよ」と言われたのがきっかけでした。調べてみたらフルマラソンは売り切れていたけれど、ハーフはまだ残っていたので申し込むことに。トレをするしかなくなりました。

パークレーにはUCパークレーというでっかい大学がありまして、そこにはもちろんジムがあります。ラボの人間は利用料金割引ということだったので、さっそく会員になりました。「ハーフに向けてどうするか」という考えはあまりなく、筋トレをしていました。体幹トレとダンベルトレをあわせて一時間ぐらいして、最後にランニングマシンで数キロ走る、という流れを2日に一回行っていました。その結果、筋肉は膨らみ、腹周りも細くはなったかは微妙ですが固くはなりました。走力は・・・よくわからないですね。まあかれこれ3ヶ月間そんな生活を繰り返していたわけですが、最長ランニング距離6キロのままハーフマラソンを迎えることになりました・・・

ハーフ前日。カーボローディングを言い訳にして、ひたすら食べていました。それと、翌日朝の交通を調べてみるとスタート7時半に対して、電車の始発が日曜は8時というのを知り絶望していました。

そして当日。朝4時に無事に起床、タクシーに20ドル以上払って会場付近に到着しました。早く着いたというのとカフェイン欲しさでコーヒーを飲んでまったりしていました。そして6時20分ごろにスタート地区への輸送バスに乗り込みましたが、このバス輸送が30分ぐらいだと思っていたのが完全に誤算でした。50分ぐらいかかったために、スタート7時半の20分前ぐらいの到着となってしまいました。そこから荷物預けたりしていたらほとんどアップする時間がなかったのが実に厳しいところでした。また、会場付近はすごく良い天気だったのに、スタート地区は霧が出ているというかつすら霧雨みたいになっているという状態でした。そうこうしている間にスタートのカウントダウン。アップ不足のままスタートをくぐりました。

レース前半は公園内なのですが、うっすら霧がかかった中を走るというもので面白いものでした。公園を抜けると普通の道路を走るわけなのですが、随所に楽器演奏してたりするよくわからん応援の人達がたくさんいて

面白かったですね。ちなみに 10 キロ付近でお腹が痛くなったのでトイレに寄ったので数分失いました。基本、西から東に走るというコースなので、時間的に後半はひたすら日差しがつかったです。ただ、コース自体は後半下りなのでガンガンにスピードが出せて楽しかったですね。そんなこんなで終盤に差し掛かった時、時計を見るとなんとか目標の 100 分きりにたどり着きそうなペースで来ていることに気づきました。そこからは出そうとしてもペースを上げられなかったので現状維持を意識して走っていました。最後ラスト数百 m ぐらいのところ自分の時計が 99 分となっており、ゴールも見えていたのでそこからは力を振り絞って走った結果、なんとか 99 分 48 秒でゴール。ギリギリ 100 分を切る事が出来ました。ランニング不足の割にはなんとかあったのでよかったよかった。

とまあ、ざっくりですが、こんな感じの 3 ヶ月でした。英語力が乏しいのでなにかと大変でしたが、なんとか生きて帰ることが出来たのでよかったです本当に。研究環境は圧倒的に良かったですし、阻害するものが何も無いので研究に集中できるというのはメリットでしたが、やっぱり生活面は日本が一番としみじみ感じました。この三ヶ月間、(遠隔飲みを除くと) OLT やつばめ会の人と飲むことはおろか会うこともなかったもので、どこかのタイミングでお会いできれば(飲めれば) いいなと思います。

転職のすゝめ

SATO (34 期)

スロープの原稿はなんだかんだ初めましてですね。34 期の佐藤です。

二本書ければ書きます。

1. はじめに

私事ですが、今年の7月から転職して新しい会社に入りました。前職を辞める経緯から転職活動の動き、現在の様子と書いていくので転職する際の参考にしてください。

2. 転職サイトに登録しよう！

働いている方は転職サイトに登録してみると面白いと思います。というのも入社した時と経験や考え方も変わった方も多いと思いますし、会社の常識だけではない外の世界も楽しいと思うからです。OLT の飲みも楽しいですが、たまには違う人と飲むのも楽しいですよ。そんな感じです。転職サイトも結構種類があって悩みます。私は DODA、エン転職、転職会議に登録して転職活動を行いました。転職活動でまず行うのは自分の気になる分野をピックアップしてポチポチする感じで就活とそんなに変わらないと思います。転職活動と就職活動の違いを書いていきましょう。

転職のここがいい！

- ・ 転職活動が失敗しても現職が続くだけ
- ・ 面接で自分の経験を話しやすい
- ・ より具体的な話ができる
- ・ 現実のつらさを知っているので、より自分に合った会社をゆっくり探せる
- ・ 年収が上がる、休みが増える可能性
- ・ 転職エージェントが色々調べてくれる

転職のここがダメ

- ・ 経験が生かせない場合もある
- ・ 手続きがめんどろ
- ・ いざ辞める時勇気がいる

辞める勇気があれば転職はいい点の方が多いです。たぶん。私は最終的に DODA のエージェントと面談して条件を決め、いくつか候補を出していただきました。1 年未満での転職活動だったので中々内定をもらうのに苦労したり、職務経歴書が空欄で埋まりで苦戦しました。当たり前すぎる。ただ、自分一人では間違いなく転

職できなかったのが転職はエージェント使った方がいいです。お金もかかりませんし、働いているとメールとかも中々できないですからね。日程調整もやっておいてくれるので助かりました。登録して話を聞くだけならタダなので、登録してみると面白いと思います。

3. 会社を辞めよう！

転職活動を進めるうえで確実にこなさなければいけないのがこれ。上司に辞めます！ということが一番つらいです。私の上司はひどいパワハラジジイで、言論統制されていたため中々言えませんでした。上司も忙しいのもありましたけど、私は電話で会社を辞める旨を伝えました。「お前は何を言っているんだ？お前にいくら使ったとおもっているんだ！」「会社に恩を返さないで辞めるなんて何てやつだ。」といったようなことを4時間弱怒鳴られ続け、最終的にもういいよ。明日から来なくていい。早く辞めろ！と言われ、使ってなかった有給をフルに使いその日を最終出勤日にしました。実は計画通り。ここまで怒られるとは思ってませんでした。

辞める際の障害は辞めます宣言を如何に穏便に済ませられるか、これに尽きると思います。上司の表情を伺いつつ、二人で話す機会を作り、ちょっとした雑談からスムーズに伝える。それができたらここまでにはならないと思います。勇気を振り絞って辞めてみましょう。スッキリしますよ。

4. 転職先はどうよ？

そんなこんなあって転職して、人材派遣会社に入りました。いわゆる派遣とは違って正社員で、客先のプロジェクトに関わって終了したら帰る助っ人外国人みたいなもんです。客先に派遣されていない時も変わらず給料は発生します。いまは研修中で毎日定時あがりです。前職では一度も定時で帰れなかったのに。簡単に比較表を作りました。

	前職	現職
勤務時間	7:00~22:00	8:30~17:30
休憩時間	45分 (+7分休憩×2、工場のみ)	60分 (+15分休憩×3)
休日祝日有給	祝日は消え、土曜もたまに。有給何それおいしいの？	カレンダー完全準拠+5日 有給消化率7割越え
残業	月80以上(支払いは1/10時間分)	平均月20らしい、支払いは1分単位
イベント	6時からの挨拶運動(役員、新入社員)	金曜日17時から清掃
ボーナス	6か月	3か月
昇給	年功序列	能力給

ボーナス以外は現職の勝ちですね。2年でかなり昇給した人もいるし、派遣という仕事柄、資格を取るともろに給与に反映されます。TOEIC550以上から報奨金があり860以上で基本給が3万上がるなど本人次第なところはありますね。やれるだけ頑張ります。

派遣先は結構大きな会社が大きいらしいのでみなさんのところに行くかもしれません。その時は楽しい飲み会しましょう！

JWOC2017 遠征記

上野 康平 (38 期)

こんにちは。38 期の上野です。JWOC2017 の日本代表に選んでいただきフィンランドで戦ってきました。今回はその遠征記を書こうと思います。JWOC セレについては別の機会に書けたらいいと思っています。ただつらつらと書いているだけなのでつまらないかもしれませんが、もしよかったら最後のまとめのところでだけでも読んでくれるとうれしいです。それでは拙い文章ですがよろしくお願いします。

遠征メンバーは

男子： 稲森（横国 3）新田見（東京 3）上野（東工 3）
岩井（京都 2）椎名（東大 1）森清（東海高 1）
女子： 稲垣（千葉 3）高橋（東北 3）河村（名古屋 2）
増澤（筑波 2）小竹（筑波 2）宮本（筑波 1）
です。オフィシャルは山高さん、石澤さん、守屋さんです。

7月2日（日）ロングセレ in 宇根峠

1 週間ほど前に風邪を引いてしまいそのせいで喉の調子が悪いままロングセレに挑むことになってしまいました。この年は枠が 31 人と非常に多く、大きなミスをしなければまず通るだろうと思って挑みました。しかし帰ってきて速報を見てとても驚きました……。なんと各レーンボーダーが僕と小原（38 期）で 20 分近く差が出来てしまいました。

遠征記を書いているときはまだ推薦などの結果が出てないので不安ですが、わんちゃんどっちか落ちるでしょう……。まあそんなことは置いといて、この年僕は関東学連幹事長だったので表彰式をしなければならず、しかもマイクの音量がとても小さかったため声を張っていたら見事に喉を潰してしまいました。

次の日に出国でしたが一切パッキングをしておらず、ロングセレお疲れのみを断念してパッキングを始めましたが、初めての海外とあり時間がかかってしまいました。寝たのは 3 時でした。

7月3日（月）出国

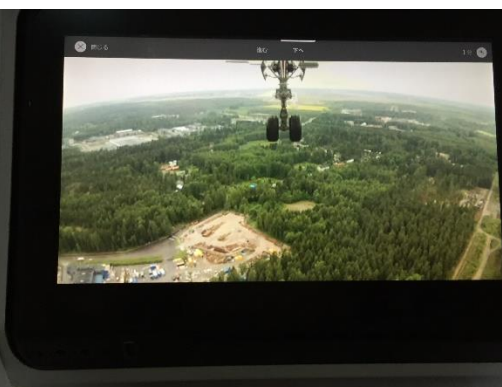
4 時に目覚め（ほぼ寝てない）、戸締まりなど最終チェックを済ませ 7：05 に成田空港第 2 ターミナルに着く電車へ乗る予定でした。しかし最終チェックに戸惑ったのと腹痛に苛まれ、見事に乗り遅れました。結局スカイライナー課金をしてしまいました。スカイライナーめっちゃ速かったです。

集合にちょっと遅れて後発組と合流しました。喉が潰れて声が殆ど出ずうまくコミュニケーションが取れなくてしんどかったです。見送りに両親と宮西さんやらいおんまるさんが来てくれました。



飛行機については新田見が全部やってくれました。無事搭乗し、9:50 出国しました。僕が座った列は荷物が上にしまえず、ずっと足元に置いといたのでしんどかったです。

10時間のフライトでしたが、喉がいたく満足に眠れなかったので「君の名は。」やよくわからない数学者の映画を見たり音楽を聞いたりして過ごしました。



9:50に出国し10時間のフライトだったのに、フィンランドのヘルシンキ空港についたのは13:50! すごい。ヘルシンキ空港からタンペレまで電車で2時間ほど移動しました。フィンランドには改札がなく切符もペラペラの紙だったので簡単にキセル出来てしまいそうでした。でも乗り換えで乗った特急みたいなやつ

は車掌さんがチェックしに来ました。

ホテルはタンペレ駅から歩いてすぐのところにあります。Wifi やバスルーム、サウナもありました。食事
もとても美味しかったです。



7月4日（火）トレキャン1日目

初の北欧でのオリエンテーリングは KORTEJÄRVI というトレインでした。先発組の石澤さんから散々フィンランドのオリエンテーリングは見通しが悪くて足場が悪くて面白くない、と言われていたので若干不安でした。3ポまでは歩いたり寄り道したりしてトレインの感じを確認してみましたが、まさに日本で思い描いていた海外のオリエンテーリング！って感じで凄く楽しかったです。4ポからは走ったりして色々試行錯誤を重ねていました。日本ではレアな露岩がとてもわかりやすいです。地図だけ見るとピークやコブがわかりやすそう

ですが、現地は小さな凹凸がたくさんあってなかなか思ったような地形が出てこないのが難しいです。それでも露岩のあるピークや水路などわかりやすいものを繋いでいけば回ってこれました。後半はスピードも出せてミスもしましたがそれでも楽しかったです！！湿地めっちゃ沈むけど走れる！！コケでふかふかしてて転んでも痛くない！！でも足は疲れる！！



白いのが露岩です。岩に白いコケみたいなのが生えてます。手前の茶色のはコブです。違いわかりますか・・・

夕食のあとは軽く街中を散歩しました。変な寿司屋を見つけました。

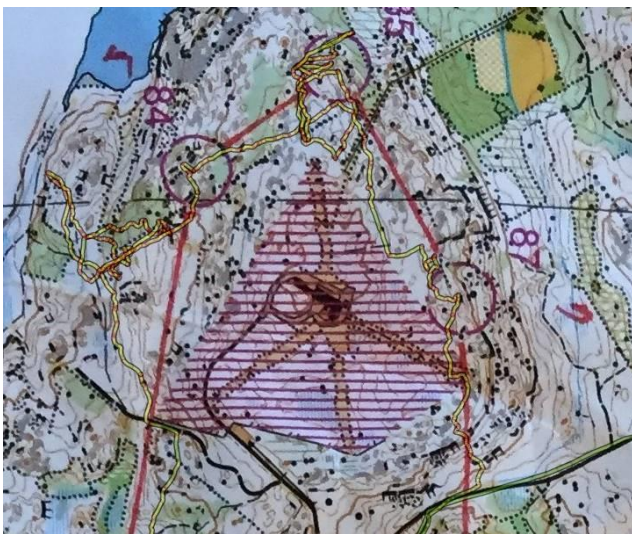


7月5日(水)トレキャン2日目

この日は TEISKO というトレインへ行きました。先発組(稲森・森清・岩井・河村)はすでにここに入っていたのですが、稲森以外見つけられなかった魔の 84,85,87 番コントロールをなんとか見つけようと頑張りました。1:15000 の地図は細かすぎてかなり読みづらかったです。しかもコースが 10 キロ弱あるものでかなりしんどかったです。

そして魔のコントロールですが、なんとか全部取れたものの見事に現口スしました。距離感が合わない&地図が細かすぎる&地図が若干イカということもあって外しまくりました。GPS ログが悲惨すぎますね。ここで1時間半ぐらいツボりました(笑)それでも今振り返ると行けそうな気がします。ただ何度も思うけど、地図から受ける印象よりずっと難しいです。日本にいた頃は、こんなのピーク数えて真っ直ぐ行くだけじゃん、とか思ってたんですが、地図通り平らなところに高さ 5m のピークがあれば簡単ですが現実はそのような簡単じゃないです……。それでも見通しが良くてまさに海外って感じで最高でした。

案の定、魔のコントロールのせいで疲れ果てて途中でギブアップしました……。帰るのも遠くてクソしんどかったです。



7月6日（木）トレキャン3日目

ついにこの日は午前中にスプリントの練習をしました！市街地スプリントめちゃくちゃ楽しかったです。スプリントはフォレストほど国内との違いがないのでいつもどおりのオリエンテーリングができました。足があまり速くないのでスプリントは苦手だったので楽しむことをメインにしていました。

市街地スプリントはキャンパススプリントと似ていて建物が入り組んでいて、下部通行可能な場所や狭い通路をしっかりと読む能力が問われました。とくに細かな柵、D 藪の処理が難しいです。しかしエリアによってはオープンが広がっている場所もあり、スピードを上げて走らなければいけない区間と地図をしっかりと読まなければ行けない区間の切り替えが難しかったです。オープンエリアの速度のまま複雑なエリアに突っ込むと地図読みが足りずミスをしまくりました。あと市街地なので私有地がたくさんあります。私有地に突っ込まないようなルートを走るのはもちろんのことですが、現地で私有地をしっかりと認識する力も問われました。

WOC2017 スプリント代表の上島（慶應3）も言っていました、私有地の場所を見分けるのがとても難しかったです。日本の一般的な住宅地とは違って基本的に庭や住宅に仕切りがないので、どこまでが通路でどこからが庭なのかが分かりにくかったり、通っていい通路なのか、ただの庭へつながる通路なのかとても混乱しやすかったです。

午前にスプリントの練習を終えてからは念願のオリエンテーリングショップへ行きました。トリムやシューズやコンパス、地図も売っていました。狭かったですが見ていて飽きませんでした。Great Britain の JWOCer もいました。ここで安売りされていたピン付きシューズを購入しました。と言っても物価が高いので安売りされて日本の定価と同じぐらいでした。日本ではほとんど取り扱っている店がない VJ Sport というメーカーの BOLD8 というシューズです。

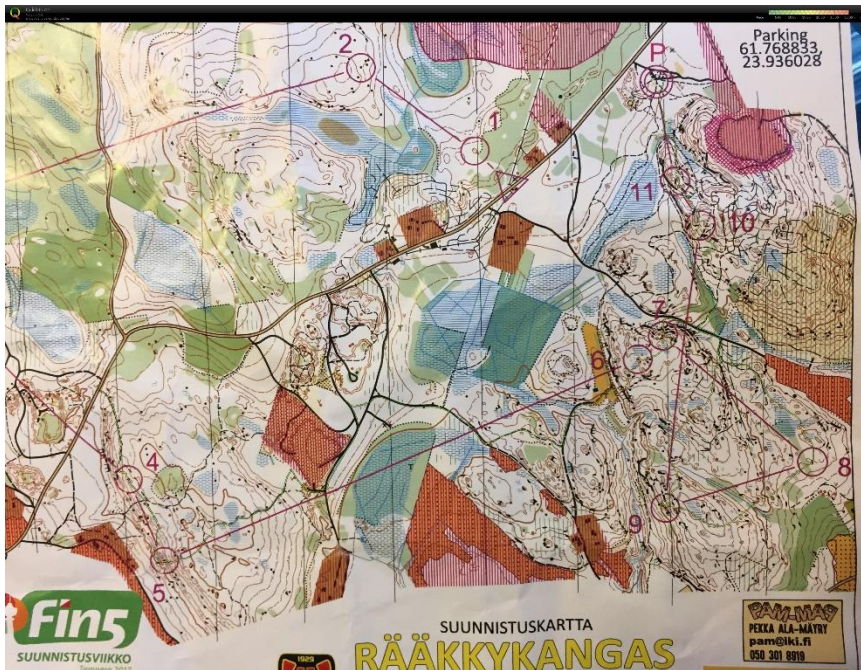
あとになってわかったのですが、WOC2017 ミドル優勝、キングオブオリエンティアの THIERRY GUEORGIU（ジョルジュ）のシューズと同じでした。WOC2017 のクロージングセレモニーのときにジョルジュがレースで使ったシューズを観客に投げたらしいのですが、なんとそれを上島がキャッチ！サインとメッセージ入りだったらしいです。それをツイッターで見て同じシューズということに気づきました。

日本で皆が xtalon212 を履いているのと同じように外人選手の殆どは BOLD を履いていました。Inov8 は少なかった気がしました。



↑これを上島がキャッチ

そして午後はRÄÄKKYKANGASというトレインへ行きました。駐車場のA藪がスーパーAで感動しました。3日目ということでだいぶ慣れてきたのでレース形式でオリエンテーリングをしました。このトレインは今までにないくらい見通しがよくめちゃめちゃ楽しかったです。やっぱり露岩ピークが明るくわかりやすく、湿地は走れるけど、見た目ではわかりませんでした。あまりに見通しがいいので道走りや小径辿りでスピードをだしすぎて、見逃しや辿り間違えなどのしょうもないミスをしてしまいました。走り終わってもみんな口を揃えて楽しかったと言ってました。



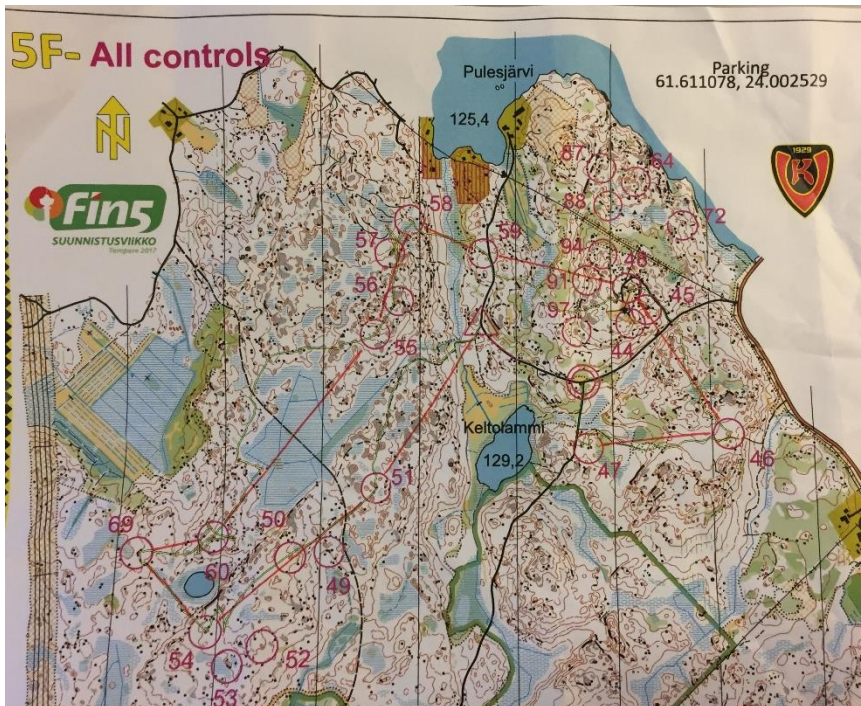
最高気温が 13 度でとにかくこの日は寒かったです。でも天気はめちゃめちゃよかったので夜軽く散歩してきました。22 時でもこの明るさです！



7月7日（金）トレキャン4日目（トレキャン最終日）

この日は午前フォレスト、午後レストにしました。

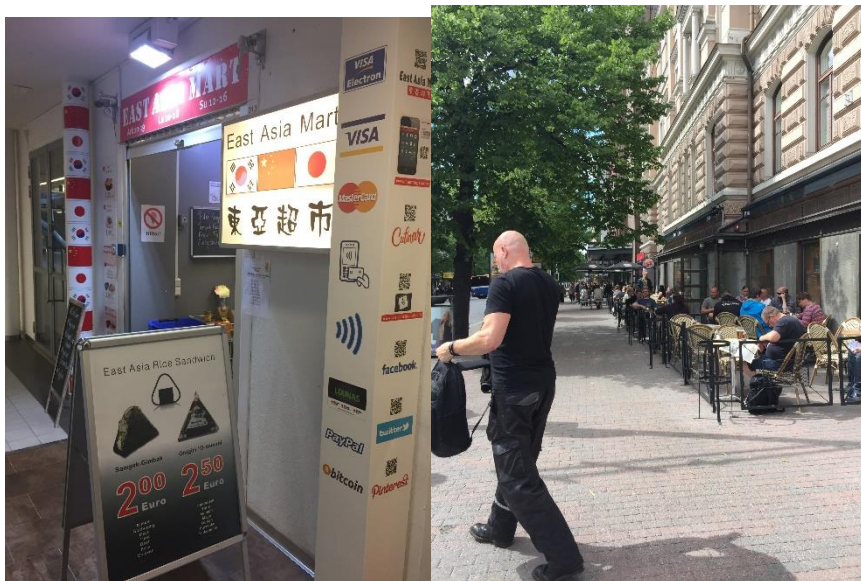
午前には PULESJÄRVI というトレインでミドルを走りました。最終日ということもあり本番を意識して真剣にレースに挑みました。疲れが溜まっていたので思うようにスピードが出せませんでしたが現ロスなどのミスはせずそれなりによく回ってこれました。最終日で感触のいいレースが出来て良かったです。



午後のレストではコインランドリーに行くついでに宿周辺を散策しました。歩いて10分ほどのところにショッピングモールがあり、そこにコインランドリーがありました。フィンランドは意外とコインランドリーが普及していないみたいです。しかしコインしか使えないのに両替機がありませんでした。しかも6€必要だったので1€の買い物を2回する必要があってめんどくさかったです。洗濯している間にショッピングモールを散策しました。アジアの商品を扱っているお店がありました。結構過疎ったモールだったので特にやることなく適当にカフェに入って昼ごはんを食べました。メニューがよくわからなかったので適当にサンドイッチを頼みました。美味しかったです。Wifiもないのでぼーっとしてました。

洗濯が終わってからタンペレ大学へ行きました。でも夏休みだったばくて学生が一人もいませんでした。大学ランキングだと慶應と同じくらいらしいです。黒板が使われてました。

そのあとは鉄道好きの人のために線路の写真を撮って、適当に歩いてたらまたショッピングモールを見つけたので入ってみました。こっちのモールは栄えていてゲームショップやスポーツ用品店などがありました。でもスポーツ用品店にはオリエンテーリング関係のものはありませんでした。通りにはたくさんのバーがあって、金曜ということで華金のごとく昼からビール飲んでる人がたくさんいました。ずっと明るいので楽しそう。



7月8日（土）選手村へ移動・ミドルモデルイベント

トレキャンでお世話になった宿を出て選手村へ移動しました。トレキャン宿は市街地にあつて食事も美味しいベッドメイキングもしてくれる神宿でした。日本で言うとファミテックの超上位互換って感じでした。

こんな森しか無い場所に本当に宿なんてあるのかと思ひながら恐る恐る選手村へ移動しました。そして案の定選手村の宿はオフィスに無理やりベッドを3つ突っ込んだ部屋で、パイプむき出しの刑務所のような部屋でした……。トイレも1階にしかなく、なんとシャワーは体育館についでるシャワー室（そのうち壊れる）か、仮設のコンテナシャワー室（たまに水しか出ない）しかありませんでした……。端的に言って天と地の差でした。

まあでも食事は美味しかったです。Wifi もありました（そのうち壊れる）。あと湖のほとりにあるのでロケーションは最高でした。ほぼ毎日湖に行った気がします。



↑これは最終日に皆で飛び込んだやつ。めっちゃ寒かった

初めて湖に行ったら日本語を喋れる方がいらっしゃいました。Yoni さんというフィンランド出身の方と日本人の奥さんとその子どもたちが湖で遊んでいました。とても親切な方でフィンランドでのオリエンテーリングのやり方を教えていただきました。Yoni さんによると岩や小さなピークを全部確認しているのでは上手くスピードが出せない、トップ選手は等高線をしっかり読んでいるとのことでした。北欧選手でもすべてのピークや岩を走りながら確認出来るわけではないみたいです。とっても親切な方でした。

湖畔で昼食を取ったあとしばらくしてミドルのモデルイベントへ行きました。トレキャンの地図よりずっと正確に描かれていて植生界や藪も分かりやすかったです。トレキャンで行った場所より藪が多く、足場も悪くて走ると結構体力もっていかれました。やっぱり露岩がわかりやすくて、コブや岩は分かりづらかったです。

そしてなんと今回の JWOC は選手全員が GPS を持つことになっていました！！例年ランダムで選ばれた選手のみ GPS を持つ仕様でしたが、さすが通信大国フィンランド、全員に持たせるとは相当です。観戦にはかなりもってこいですね……。選手としてはただ緊張するだけの重りですけど……。

7月9日（日）スプリントモデルイベント・オープニングセレモニー

車が1台しかないので3グループに分かれてスプリントのモデルイベントへ行きました。僕たちはバスで行く予定で、バス停まで2kmほどあったので徒歩で移動していたらなんと台湾のコーチが車に乗せてくれました（！）とても気さくな方で日本の大会（京大京女大会）にも来たことがあるそうです。めっちゃ飛ばしたり手放し運転したりとなかなか粗い運転でしたが、予定よりもずっと早くモデイベ会場につくことができました。本当にありがとうございました。この件以降台湾チームと仲良くなりました。

スプリントのモデイベはそこまでガッツリ走らず歩いて地図と現地の対応を確認していました。日本と殆ど変わらないのですが、やっぱり私有地がわかりづらいのと通路が細いのが大変でした。あと人工特徴物はゴミ箱と遊具でした。

そのあとはオープニングセレモニーがありました。なんと遊園地の一角で行われました。ただ式典自体は IOF の偉い人とかがスピーチをしてよくわからないダンスを見て終わりました。遊園地までの移動中は通り雨が降っていたのですが、式典中は天気が良くてよかったです。夜また湖に行きました。



7月10日（月）ミドル予選

男子のミドル予選は3つのクラスに分かれ、1~20位がA決勝、21~40位がB決勝、それ以下がC決勝に進みます。稲森ですらいままでB決勝に進んだことはない（たぶん）ので、世界の壁はそうとうです。

宿舎の選手村に Quarantine と呼ばれる隔離部屋が設置され、選手とオフィシャルは Quarantine に入ると戻ってこられず、携帯などももちろん使えなくなります。Quarantine からバスで待機所まで移動し、そこから11分前にGPS装着・Emitチェックを受けスタートへ向かいます。

ミドル予選は思っていたより緊張しませんでした。直前にいいレースができていたこともそうですし、緊張以上に楽しみすぎて早く走りたいくらいでした。レース中は常にGPSの事が頭にありました。道走り中の尻尾の長さで速度バレルなーとかポストで止まってるのバレルなーとか思っていました。でもミドル予選はそのプレッシャーがいい感じに働いて道走りもがんばれました。

結果はB決勝ボーダー+5分でした。GPSを見返すと脱出が適当だったり、10ポでミスしていたのでその辺をなくせば5分くらい縮まった気もしますが、自分なりの良いレースができたので満足でした。応援されてとても嬉しかったです。この日はTwitterやLineを開くのが楽しみでした。

チームとしては稲森が余裕でB決勝、岩井のヒートがペナ続出の大荒れでB決勝ボーダー通過といい成績になりました。でもやっぱり世界の壁は高いと痛感しました。

会場の売店ではオリエングッツが売っていました。でもJWOCオリジナルのはあまりなくて写真のあんまりかっこよくないFinlandトリムがオリジナルっぽかったので買いました。



7月11日（火）ミドル決勝

C 決勝は GPS を持たず、距離も 3 km と短かったのでスピードレースになると思っていました。予選では守りのオリエンテーリングをしてしまっていたので、決勝では攻めたオリエンテーリングをやってみようと思っていました。難易度は予選と同じかそれより簡単になると思っていたのですが、いざレースに挑むとなかなか難しかったです。△→1 で植生界をたどるルートが見えず、隣ポに引っかかりそこでリロケをミスったせいで 4 分後の Japan 選手に追いつかれてしまいました。その後も切り替えができず 2, 3 回同じようなミスをしてしまいました。日本で 2 年間オリエンテーリングをしていたとはいえ、北欧でのオリエンテーリングは 5 日間しかやってきていないので一度自信をなくすとボロボロになりやすくなってしまいました。地図とコンパスだけ見て現地を全く見ていない状態が続いてしまいました。これは日本でも 1 年生の頃よくなっていた現象です。この日は皆苦戦したようです。

7月12日（水）スプリント

スタートが結構遅めだったので朝はゆっくりでした。天気あまり良くなく雨が降ったりやんだりでした。僕のスタートのころは降っていませんでしたが、雨のせいで地面がかなり滑りました。タンクトップを着ることになっていたの日本いた頃から筋トレをしていました。それでもアジア人は小柄で、海外の選手は本当に 20 歳なのかと疑いたくなるくらいでした。

レースは△→1 で big mistake をしてしまいました。プレスタ区間がぬかるんだ不整地で地図を読めなかったことと、コントロール位置が立体構造で、それを読みぬくことができていなかったことがミスにつながってしまいました。思っていた場所にコントロールがなくミスに気づいたあとも焦ってしまい、しっかりと地図を読まず階段を登ってしまったのでどこにいるか解らなくなってしまい、隣ポに引っかかりまくりました。それでも諦めずレースをしましたが、序盤が難しく後半が簡単だったので序盤もうすこし慎重にやっていたらなと後悔しています。でも何回も海外の選手とチェイシングになりスピーディーなレースが出来て非常に楽しかったです。遅いスタートだったのでビジュアルで皆が応援してくれたのも励みになりました。

スプリントはフォレストと違って日本とそれほど変わりませんが、それでもアジア人選手の成績が振るわないのはやはり走力差がかなりあるということだと思います。海外ではスプリント専門の選手もいるくらいですし、女子のトップ選手は 3000m を 9:10 代で走るみたいです。でも逆に考えれば日本人でももっと走力を鍛えれば世界で戦えるようになるということでもあると思います。もし足に自信があってスプリントで活躍したいと思う人がいたら、諦めず頑張っていれば世界でも戦えるようになるかもしれません。それでも日本では頭一つ抜けた存在の尾崎さんや上島ですら世界では下位層となってしまうのは恐ろしいことです。

スプリントのあとはフラワーセレモニー（表彰式）がありました。表彰台に立っている選手はみんなかっこよくて、同年代とは思えませんでした。



7月13日（木）レストデイ

何人かはロングのモデルイベントへ行き、僕は足が痛むのと今までほとんどレストをとっていなかったので1日レストにしました。洗濯をして、昼ごはんは皆持ってきた日本食やカップ麺を食べました。その後は河村が持ってきた「犯人は踊る」という人狼のようなカードゲームをしてました。この日は笑いすぎて腹筋が痛かったです。



 fin5jwoc2017



いいね！128件

fin5jwoc2017 The athletes have put their day off into good use at Murikanranta #jwoc #jwoc2017 #orienteering #suunnistus #restday

コメント1件を表示



そしてロングのスタートリストが発表されたのですが、何とトップスタートでした！特に緊張することはない、早く終わってみんなを応援できるなーとかシャイニングロードなくて辛いなーとか思っていました。次の日朝早いので早めに寝ました。

7月14日（金）ロング

トップスタートなので5:30には起きました。食堂には誰もいなくぼっちで朝ごはんを食べました。第一便のバスで移動し、ゆっくりしている暇もなくスタート枠へ移動しました。そこまで緊張していた感覚はありませんでしたが、3分前枠に入る前に靴紐を結び直した時コンパスを置き忘れてしまい、めちゃめちゃ焦りました。なんとか見つけられました笑

レース中は微妙な天気で雨が降ったと思ったら晴れたり、またすぐ雨が降ったりって感じでした。道走りで地図を広げたときになんかヤバそうなロングレグあるなーと思ってました。ロングレグに行く前のフォーキングエリアで3、4分ミスは何回かやってしまいました。シャイニングロードはないし露岩は雨で滑るしで最悪でした。問題のロングレグですが、まず右回りの道巻きは見えませんでした。と言うか見えてたら秒でそっち行きます笑。地図折ってるし、パープルハッチかかっているのにまさかそこにくり抜きがあるとは一切思いませんでした。とりあえず植生界まで行こうという曖昧なプランで走り出してしまい、案の定ずれて植生界の手前でうろついてしまいました。後ろから来た外人をパックしたら道に出れたのですが、サイアクなことにそのままパックしてしまい、D 藪を前に絶望、仕方なく道まで戻りました……。まだ道に出たときに冷静になっていれば大やけどせずにすんだはずでした……。その後は完全に自信をなくし、道巻きしか見えませんでした。その後はもう惰性でオリエンテーリングをし、ラスポで実況に「Kouhei Ueno is finishing. He got No.1 but had so long race hahaha」みたいなことを言われた気がしました。絶望的なラスポでした。でも海外の人も拍手したり応援してくれて嬉しかったです。

流石に日本人の中ではトップゴールだったので皆の応援をしました。みんなのラスポは自信に満ち溢れててカッコよかったです。

7月15日（土）リレー・バンケット

リレーのオーダーは1走森清・2走上野・3走椎名でした。前日にタスキをつなぐことを目標としてました。1走の森清がいい感じに帰ってきてくれて、僕も2ポまではトルコとチェイシングしてていい感じでした。でも2-3の直進レグが何回やっても当たらず、たぶん30分くらいやりました。本当にかっこ悪かったです。ビジュアル通るのも辛かったです、それでも諦めずレースを走りきることができました。

リレーが終わったあとはオフィシャルレースが開催されました。日本のインカレのオフィシャルレースと同じで各国のオフィシャルが選手に煽られながら同じコースを走ります。水ぶっかけられたり服脱がされたりとなかなかカオスでした。

そしてこの日の夜はバンケットがありました。最初はバンケットとは後夜祭みたいなもので普通にお酒を飲むものだと思っていたのですが、実際はDJが音楽かけて皆が踊り狂うという完全にディスコでした。各国衣

装を揃えてきているのですが、日本チームは黄色をベースにピカチュウという地雷臭しかしいコスプレでした。最初の方はウケてて良かったです。ディスコエリアではお酒飲めなかったのでバーでお酒を飲んで踊りました。みんな意識が朦朧としてて意味不明で楽しかったです。



○JWOC 遠征を終えて

まず初めに応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。特に OLT 部員、OBOG の方々には壮行会を開いていただき金銭的にもご支援していただきました。大変に感謝しています。

JWOC 代表が決定してからの3ヶ月間毎日十分なトレーニングが出来ていたのかと聞かれると、出来ていませんでした。毎週末のオリエンテーリング遠征で溜まった疲れを十分にケアすることができておらずパフォーマンスの低下、学内Oでの膝の負傷、東大会での捻挫が非常に大きな障害となってしまいました。しかし焦る気持ちからしっかりと怪我のケアをすることなく無理に走り込みをしてしまい、結果として完治を遅らせることとなってしまいました。精神的にはずっと「国内で目立った成績を残せていない自分なんか代表に選ばれてしまっているのか」という気持ちがあり、僕自身はあまり感じている意識はありませんでしたが、もしかしたらそんな思いによって緊張や焦りを溜め込みすぎているのかもしれない。一向にオリエンテーリングが速くならず焦る気持ちと、怪我で思うように走れない状況が悪い方向へ向いてしまっているのかもしれない。

しかしそれでも今遠征を終えて振り返ってみると、出来ることは十分にやれていたと感じています。皆さんからの応援を無駄にしないようにという一心でトレーニングに励んでいました。それに加え新しく入った1年生にも非常に刺激をもらいました。毎日たくさんの1年生がランニングに来て一生懸命努力しているのを見て

いると、自分も走らなければという気持ちになりました。そして後輩の模範となる先輩を目指しトレや練習会に真剣に取り組んだつもりです。ぜひ後輩にはもっとオリエンテーリングを好きになってもらい、競技を頑張る人はインカレエリートや JWOC 代表を目指していただきたいです。

出国から帰国までは本当にあっという間でした。とにかくチームメイトと一緒に、オリエンテーリングに夢中の日々でした。朝起きて朝食を皆と食べ、皆で車でトレインまで移動し、皆でオリエンテーリングを切磋琢磨し、皆と晩御飯を食べ、昼の振り返りをして寝るという生活でした。初めはなんだかぎこちない関係だったチームメイトでしたが、終わったころには最高の仲間になっていました。フィンランドの夏なのに肌寒いくらいの過ごしやすい気候にすぐ順応できて、体調を崩すことなく終わることが出来て良かったです。

ですが本戦期間中は身体的、メンタル的に非常に疲弊しました。連戦を重ね、毎日世界の壁を痛感し、うまくいかないレースをした日は日本で応援してくれた方々へ申し訳ない気持ちでいっぱいでした。それでも Line や Twitter で応援してくれて本当に嬉しかったです。泣きそうでした。と言うかりレーの日はダメダメ過ぎて泣きました。リレー 2 走の 2-3 で絶望的なミスをしてしまったのですが、ビジュアル区間でチームメイトがめっちゃやさしい言葉をかけてくれて、ゴールしたあとは何もなかったようにお疲れと言ってくれて、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

全員が毎日完璧なレースを出来ていたわけではなく落ち込んでいる人もいて、それでも 5 種目全部棄権者が出ることなく終わったのは凄いことだと思います。めちゃめちゃ狭かった宿舎も、今となってはそのおかげでチームの絆が深まった気がします。毎日しょうもないことで爆笑していました。そして最終種目のバンケットでは日本代表として恥ずかしくない振る舞いができていたらしいです。

最後にもう一度、応援していただき本当にありがとうございました。いつも中途半端な成績でかっこ悪いですが、これからもオリエンテーリングをやめることなく頑張っていく決心ができました。

この遠征で僕が一番伝えたかったことはオリエンテーリングの楽しさでした。OLT の皆には競技だけではなく、オリエンテーリングに関わる人たちとの人間関係や、オリエンテーリングが行われる場所のユニークさを楽しんでもらいたいです。

僕はオリエンテーリングに真面目に取り組んでいる人が大好きです。でもそれは競技だけでないです。OLT のみんなにもっとオリエンテーリングが好きになってほしいなあ。

拙い文章でしたが、読んでいただきありがとうございました。文字だけでは伝えられないことはたくさんあると思うので、ぜひお話ししましょう！

つばめ会メーリングリスト・ホームページについて

○つばめ会 ML (メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段のひとつとして運用されております。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽にご利用下さい。

なお、yahoo グループのサービス終了につき、2014 度よりつばめ会 ML は freeml により運用を行っております。新しいメールアドレスは tsubamekai[at]freeml.com となります。

ご不明な点がありましたら、管理者の楠 (31 期)もしくは titech.tsubamekai[at]gmail.com までご連絡ください。

また、この ML に関するホームページ (登録メンバーのみ) にて過去ログなどを閲覧することも出来ます。

<http://www.freeml.com/tsubamekai> までアクセスしてください。

○ホームページ

つばめ会および東工大 OLT のホームページが稼働中です。ぜひ御覧ください。

・つばめ会のホームページ 管理人：長坂 (33 期)

<http://www.geocities.jp/tsubamekai/>

・東工大 OLT のホームページ

<http://olt.main.jp/>

・東工大 OLT の Twitter アカウント

https://twitter.com/titech_OLT

編集後記

皆様、こんにちは。つばめ会広報の長坂@33 期です。

M1 説明会から 1 ヶ月以上が経過した後での Slope 発行と遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。お忙しい中、原稿を執筆していただいた皆様、本当にありがとうございました。編集に至らぬ点もあるかと思いますので、ご指導よろしく願いいたします。Slope の記事や近況報告は一言からでも募集していますので、次回の Slope でもどしどし送っていただければなあと思います。OB の方々の交流の場にならばいいなと思います。

現在つばめ会ホームページの方は過去のデータや歴史、記録についても拡充させていく予定です。当時活動していた OB の皆様方にどのようなことがあったのかについての記事の執筆を依頼するかもしれませんので、お引き受けしていただくと幸いです。

今月末には 36 期が運営を行う OLT 杯が埼玉にて開催される予定となっております。オリエンの大会や次のつばめ会総会など、また皆様にお会いできることを楽しみにしております。

東京工業大学オリエンテーリング部 OB/OG 会 「つばめ会」会報 "Slope" 39 号

発行責任者：大嶋 拓実

編集責任者：長坂 侑亮 (yuu0tyou[at]gmail.com)

発行年月日：2017 年 9 月 2 日